

建設興業タイムス（2015年12月9日付3面掲載）

【エイテック 防災マップ作成に一役 ICT技術を活用】



防災マップ作成に一役

ICT技術を活用

エイテック

エイテック中国支社（松江市上乃木、久川真史支社長）はこのほど、雲南市大東町阿用地区で「防災まち歩き」を開催。防災活動に取り組み自治会の関係者らが参加した。

この取り組みは、同社が持つICT（情報通信技術）を地域の防災活動に生かしてもらおうと、CSR（企業の社会貢献）の一環として展開。危険箇所を抽出した手作りの防災マップを作成するの

危険箇所を議論する参加者＝雲南市大東町

必要な情報や技術を提供している。

参加者は集落から一次避難所までの避難経路に、危険箇所がないかを歩いて確認。さらに、同社が事前に撮影したマルチコプター（ドローン）の空中写真を見ながら話し合い、マップを作成する。11月中旬から開催しており、延べ約70人が参加する。

防災マップは、避難経路や避難所、要援護者の場所を普段から把握することで、緊急時、迅速に対応することを目的としている。

今後は、スマートフォンやインターネットを活用し、情報を早期に集める仕組みづくりを進め、地域の防災活動を支援する。